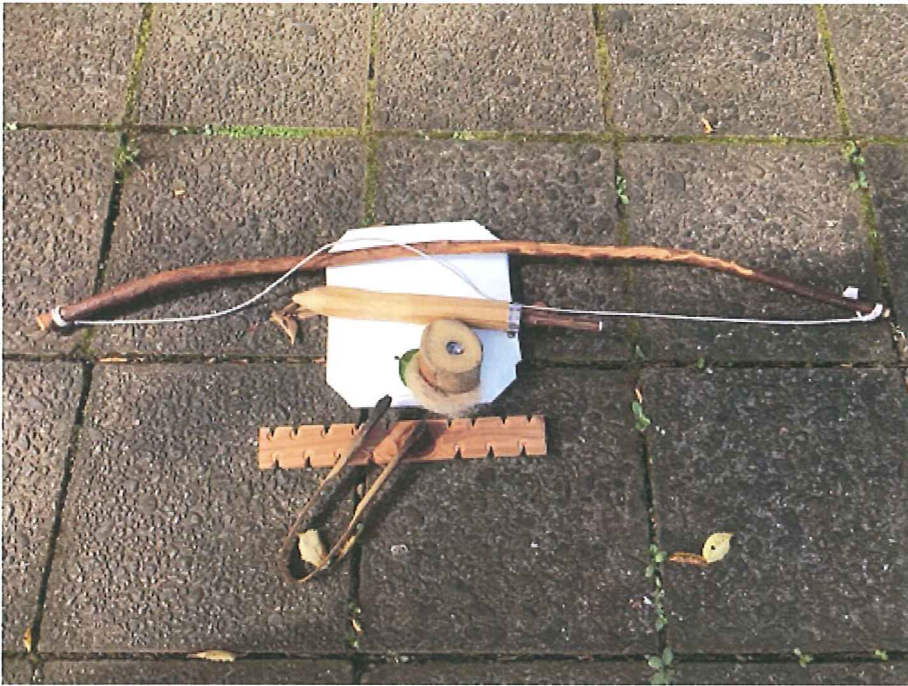




10/20(土)

お天気も良く気持ちのいい朝でした。
加曾利貝塚に足を運ぶのは小学校以来。中には初めての方もいらっしゃいました。

加曾利貝塚の学芸員の方の説明を受け、ボランティアの方の案内で



火おこし、してみました。

長方形の板のかけているところで、弓のひもで鉛筆みたいな木をくるくると回し、摩擦で炭ができ、あっという間に煙が出てきます。その炭をよく燃える物に乗せ着火！

でも、縄文時代の人はもっと苦労し



日本最大級 千葉市の縄文・古墳時代 加曽利貝塚に行ってみよう!

千葉市が誇る4つの宝の一つ「加曽利貝塚」は2017年に国「特別史跡」に指定され、日本文化の象徴となりました。史跡寺や旧貝塚宮遺蹟と並び、全国で約60件に数えられます。その魅力、美しさを見て、体験して、学びましょう。

愛すべき土偶、美しい土器

縄文時代の土偶や土器は、縄文文化の象徴として、国内外で高く評価されています。加曽利貝塚では、縄文時代の土偶や土器が数多く出土しています。その中でも、縄文時代の土偶や土器は、縄文文化の象徴として、国内外で高く評価されています。

美しい縄文BEST3

1. 加曽利貝塚出土の土器
2. 加曽利貝塚出土の土器
3. 加曽利貝塚出土の土器

生命あふれる、豊かな土地

海と山の恵に恵まれ、資料には事欠かなかったと推測される土地。縄文人が2000年定住したとみられるのは、今の千葉市に当たります。

加曽利貝塚博物館 利用案内

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日: 月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始(12月29日から1月3日)
観覧料: 無料
問い合わせ: 043-231-0129

意外と知らなかった加曽利貝塚。昨年国の「特別史跡」(国宝と同列)に指定され、ココがなければ私たちは居なかった!と改めて知らしめられました。

まだ、貝塚の調査は20%~70%しかされていないとのこと。また発掘された貝塚断面や住居跡などの保存が大変なこと。それを囲っている建物の老朽化。参加者の皆さんは口々に「千葉市の遺産をもっと大事にできないのかしらね」とつぶや



写真は無いのですが、旧大須賀邸。ちょっと残念だったのは、土間がすべて板の間になっていたり、軒天から覗く茅葺が寂しそうでした。室内は何とか保存されていますが……。

左写真は、土間でこの建物を守っているように鎮座していた土偶です。

旧大須賀邸の隣では、縄文土器や土偶作りを楽しんでいらっしゃいました。

左写真は、ドラえもん『のび太の日本誕生』という映画に出てきた土偶があり、無理やり下の方から取り出していただき、写真を撮らせて頂いたもの。感動して騒いでいたのは私だけでした(笑)

そのあと、博物館に行き、縄文土器の文様や骨折治療跡のある人骨などを観て、縄文時代



～総評～

こんなに身近に私たちのルーツがあったなんて！
もっともっと皆さんに知ってもらいたい！

まだまだ未知の世界がこの場所にはあり、残っている貝や骨、断層など現代に残っているもので縄文時代の生活や建物を想像するしかないボランティアの方はおっしゃっていました。その想像は無限でとても楽しいことだそうです。

現在でも至るところで、発掘作業が行われてました。今後どんなことがわかるのか？
どんな想像ができるのか？ちょっと楽しみだと思いませんか？

建築士としてどう関わっていけるか？
参加された方々は多分そう考えられていたと思います。

